

款	項	目							
2	1	2	担当部局・課名		経営企画部秘書広報課				
事業名			情報発信事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		④印刷製本費		18,540	18,518	0	22	100.0%
	② 委託料		①業務委託料(物件費)		28,440	28,104	0	336	99.0%
	③ 委託料		③施設機器等管理委託料		2,649	2,648	0	1	100.0%
	④ 使用料及び賃借料		⑨その他使用料及び賃借料		691	690	0	1	100.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		①負担金(補助費)		29	24	0	5	83.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤)の計			49,984	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額*該当なし"0"を挿入			74	該当/頁	86	
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額			50,058	該当/頁	89	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	50,058		70	0	0	1,117	48,871		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		総務管理費委託金 自衛隊募集事務委託金						
	県支出金								
	負担金等その他		雑入 広告料(秘書広報課)						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			市民が知りたい情報と市民に伝えたい情報が確実に伝わり、市民の協力・参画につながる広報をめざし、「広報みよし」をはじめ、ケーブルテレビの広報番組「市役所ほっとニュース」や音声告知放送、市のホームページやSNSなどにより多重的な情報発信を行う。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○需用費(①消耗品費) 6,347円 ・カメラバッテリー・電池 6,347円 ○需用費(④印刷製本費) 18,517,400円 ・広報紙印刷製本(12回) 18,517,400円 ○役務費(①通信運搬費) 67,220円 ・広報紙等発送 67,220円 ○委託料(①業務委託料(物件費)) 28,104,008円 ・CATV番組「市役所ほっとニュース」制作業務(年間40本) 7,612,000円 ・音声告知放送吹込業務(440円×115件, 880円×3件) 53,240円 ・広報紙配布業務(全戸配布・年間) 20,438,768円 ○委託料(③施設機器等管理委託料) 2,648,030円 ・ホームページ保守業務委託(年間) 2,648,030円 ○使用料及び賃借料(⑨その他使用料及び賃借料) 690,360円 ・広報紙多言語・音声読み上げアプリケーション「カタログポケット」 使用料(年間) 495,000円 ・ホームページUDフォント使用料(年間) 66,000円 ・Adobeクリエイティブクラウド使用料(年間) 129,360円 ○負担金、補助及び交付金(①負担金(補助費)) 24,000円 ・日本広報協会負担金 24,000円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 *事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			「広報みよし」の掲載内容の充実を図るとともに、広報紙をアプリで読むことができる「カタログポケット」の運用を継続し、多言語や音声読み上げに対応したほか、広報アンケートの実施結果などを踏まえて、広報紙の改善内容などを検討しました。また、ケーブルテレビ、ホームページ、SNSなどについても、情報発信の方法や内容を工夫しながら、それぞれの特徴を活かした多重的な情報発信を継続的にを行い、多様な市民ニーズへの対応を図りました。こうした取組が、「伝わる広報」に向けた広報活動の充実のほか、SNSフォロワー数やSNSでのリポスト・ハッシュタグ投稿件数の増加などにつながり、市民への情報伝達や市政への参加意識の向上などに一定の役割を果たしました。						



広報みよし令和7年11月号

款	項	目						
2	1	2	担当部局・課名	経営企画部秘書広報課				
事業名			シティプロモーション事業					
事業区分			継続事業					
			政策5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		⑤その他報償費	300	190	0	110	63.0%
	② 旅 費		②普通旅費	521	519	0	2	100.0%
	③ 役 務 費		④手数料	308	308	0	0	100.0%
	④ 委 託 料		①業務委託料 (物件費)	2,260	2,104	0	156	93.0%
	⑤ 使用料及び賃借料		⑨その他使用料及び賃借料	660	660	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡		3,781		決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		84		該当/頁	86
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡		3,865		該当/頁	89
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	3,865	0	0	0	100	3,765		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他	企業版ふるさと納税						
事業内容及びめざした目的 (具体的に)								
市民がまちに魅力と誇りを感じ、その想いが形になって動き出すまちの実現をめざして、地域の魅力を発掘・創出するとともに、様々なネットワークを通じて、市内外へ効果的に発信する取組を行う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報酬 (⑤その他報償費) 190,000円 ・シティプロモーションアドバイザー報償費 (6回) 190,000円 ○旅費 (②普通旅費) 519,320円 ・シティプロモーションに係る職員旅費 (県内2人 県外9人) 519,320円 ○需用費 (①消耗品費) 69,113円 ・スガシカオ弾き語りツアー-消耗品購入 69,113円 ○需用費 (④印刷製本費) 3,850円 ・シティプロモーションアドバイザー名刺印刷 3,850円 ○役務費 (①通信運搬費) 10,650円 ・県外でのシティプロモーションに係る物品等送付代 (5件) 10,650円 ○役務費 (④手数料) 308,000円 ・グッドデザイン賞表彰審査・登録手数料 (審査2回・登録) 308,000円 ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,103,790円 ・県外でのシティプロモーション業務 (3回) 1,643,000円 ・シティプロモーショングッズ製作業務 (1種類) 374,000円 ・グッドデザイン賞パネル作成業務 80,190円 ・LINEメニューデザイン作成業務 6,600円 ○使用料及び賃貸料 (⑨その他使用料及び賃貸料) 660,000円 ・楽天野球団スタジアムPRプラン 660,000円							
	 宗山選手の観光大使就任を通じたプロモーション活動 (宮城県)  「中四国9県観光物産展」(大阪府)							
別添資料等								
無								
(事業一覧等)	 グッドデザイン賞受賞「バス&レールどっちも割きっぱ」							
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	第2期三次市シティプロモーション戦略のアクションプランに基づく取組をスタートし、これまでの取組については内容の改善を図りながら継続するとともに、「スガシカオ弾き語りツアー」地域連携企画や「バス&レールどっちも割きっぱ」のグッドデザイン賞へのエントリー、東北楽天ゴールデンイーグルス宗山塁選手の三次市観光大使就任を通じたプロモーションなど、時勢に即した新たな取組を展開したことにより、「バス&レールどっちも割きっぱ」のグッドデザイン賞の受賞のほか、ふるさと納税寄附件数・寄附額の拡大、SNSフォロワー数やSNSでのリポスト・ハッシュタグ投稿件数の増加などにつながりました。							

款	項	目						
2	1	2	担当部局・課名	経営企画部秘書広報課				
事業名			ふるさと納税事業					
事業区分			継続事業					
			政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		④印刷製本費	2	2	0	0	100.0%
	② 役務費		①通信運搬費	60	16	0	44	27.0%
	③ 役務費		④手数料	692	692	0	0	100.0%
	④ 委託料		①業務委託料(物件費)	69,362	61,196	0	8,166	88.0%
	⑤ 使用料及び賃借料		⑨その他使用料及び賃借料	15,514	15,327	0	187	99.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①～⑤の計)	77,233		決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額*該当なし"0"を挿入	0		該当/頁 86		
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額	77,233		該当/頁 89		
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)			ふるさと納税寄附金が見込みを下回ったことに伴い、返礼品発送に係る委託料が見込みを下回ったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	77,233		0	0	0	0	77,233	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			地域経済の活性化や「ツナガリ人口」の拡大を図るため、返礼品提供事業者などとの連携により、寄附者に対する市の魅力的な特産品や体験などの返礼品の情報発信及び提供を通じて、本市の魅力を発信する。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○需用費(④印刷製本費) 1,870円 ・マルチペイメント専用納付書印刷代(按分) 1,870円 ○役務費(①通信運搬費) 15,664円 ・受領証明書等発送料等 15,664円 ○役務費(④手数料) 691,919円 ・各寄附サイトクレジットカード等決済手数料 691,919円 ○委託料(①業務委託料(物件費)) 61,195,606円 ・ふるさと納税特産品発送等業務 61,195,606円 ○使用料及び賃借料(⑨その他使用料及び賃借料) 15,327,135円 ・ふるさと納税申込フォーム利用料 15,327,135円					
別添資料等 無 (事業一覧等)			【人気の返礼品】 森の蜂蜜セット TOMOÉワイン 広島風お好み焼き ピオーネ フロマージュ(チーズ)					
成果/評価 *事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			専門的なノウハウを持つ中間事業者との連携強化を図りながら、寄附サイトの拡大と掲載内容の充実を行うなど、より寄附しやすい環境を整えたほか、返礼品を拡充するとともに、シティプロモーション事業と連動した情報発信を行い、過去最高となる、1億5,650万円(8,289件)の寄附をいただきました。 令和7年度は、ふるさと納税による寄附金をみよし森のポツケ運営事業、有害鳥獣対策(農地保全事業)、尾関山公園100周年記念事業、小・中学校屋内運動場スポットクーラー購入事業などに活用しました。					

款	項	目							
2	1	4	担当部局・課名		経営企画部企画調整課				
事業名			企画推進経費事業						
事業区分			その他事業（管理部門経費等）		—				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		①委員等謝礼		995	465	0	530	46.7%
	② 役 務 費		④手数料		4,950	0	0	4,950	0.0%
	③ 役 務 費		⑥修繕料		627	626	0	1	99.8%
	④ 委 託 料		①業務委託料（物件費）		4,101	2,265	0	1,836	55.2%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		①負担金（補助費）		1,228	1,216	0	12	99.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡				4,572	決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡				963	該当／頁	92
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡				5,535	該当／頁	95
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			役務費：企業版ふるさと納税コンサルティング業務成功報酬手数料の実績がなかったため。 委託料：地域活性化調査研究業務の実績が当初の見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	5,535		0	0	0	537	4,998		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		公共施設等整備基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			旧尾関山駅周辺の環境整備や大学連携・地域活性化調査研究の実施、企業版ふるさと納税の募集、各種協議会への負担金、行政チェック・行財政改革の実施、本市の主要な取組等を紹介する「みよしと暮らそう。」の発行。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等			○報償費（①委員等謝礼） 465,000円 行財政改革推進審議会委員謝礼 122,400円（9人×1回＋提言書提出） 行政チェック市民会議委員謝礼 342,600円（8人×3回＋提言書提出） ○役務費（④手数料） 0円 企業版ふるさと納税コンサルティング業務成功報酬手数料 実績なし ○役務費（⑥修繕料） 626,252円 旧三江線尾関山駅周辺法面防草シート張替修繕 626,252円 ○需用費（④印刷製本費） 192,500円 「みよしと暮らそう。2026」印刷代 192,500円 ○委託料（①業務委託料（物件費）） 2,264,890円 「みよしと暮らそう。2026（仮）」制作・編集業務 737,000円 旧三江線尾関山駅周辺除草及び撤去処分業務 537,890円 旧三江線尾関山駅南側区間調査業務 990,000円 ○負担金、補助及び交付金（①負担金（補助費）） 1,215,255円 広島県地域振興対策協議会負担金 672,800円 広島県内陸部振興対策協議会負担金 277,000円 広島広域都市圏協議会負担金 215,455円 中国地域創造研究センター負担金 50,000円						
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			・令和6年度に策定した第5次三次市行財政改革推進計画について審議していただくなど、最少の経費で最大の効果をあげる行政運営と健全で安定的な財政運営による持続可能な行財政運営の実現に努めました。 ・事務事業の内部評価と、公募市民・学識経験者などで構成する「行政チェック市民会議」による外部評価を実施し、市民会議からの提言をいただくなど、事業の改善等に取り組みました。 ・各種会議や視察など本市を紹介する場面で配付する冊子「みよしと暮らそう。2026」を作成し、本市の主要な取組や特色を市内外に発信しました。 ・旧三江線尾関山駅については、周辺の維持管理を行うとともに、JR西日本が所有する南側区間について調査を行い、当該区間の施設の健全度や想定される補修等について確認しました。						

款	項	目	担当部局・課名		経営企画部企画調整課				
2	1	4							
事業名			企業版ふるさと納税マッチングサポーター事業						
事業区分			新規事業		政策5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		⑤その他報償費		3,300	140	0	3,160	4.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) ➡		140	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当/頁	92
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡		140	該当/頁	95
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			マッチングサポーターの取組による企業版ふるさと納税の実績額が、当初の見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	140		0	0	0	0	140		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	企業版ふるさと納税をきっかけとして市内外のつながりの拡大を図り、本市の施策や地域活性化の応援につなげる取組として、新たに、企業版ふるさと納税マッチングサポーター事業に取り組む。サポーターを広く募集しサポーターは本市の魅力の発信や認知度の向上を図るとともに、企業版ふるさと納税の目的やメリットの周知、働きかけを行う。寄附受納に繋がった場合は、その労力や経費に報いるものとして、寄附金額の10%に相当する額をサポーターに支払う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報償費 (⑤その他報償費) 140,000円 ・企業版ふるさと納税マッチングサポーター謝礼 110,000円 (1,000,000円×10%+消費税10%) 寄附件数:1件 寄附企業:株式会社若生技建 (宮城県名取市) 寄附金額:1,000,000円 充当事業:女子野球チーム支援事業 ・広報動画作成支援等謝礼 30,000円  感謝状の贈呈								
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	マッチングサポーターの取組によって、市外企業からの寄附に繋がり、市内外のつながりの拡大が図られました。								

款	項	目	担当部局・課名		経営企画部企画調整課				
2	1	4							
事業名			DoTS (Design of Terminal SETOUCHI) 参画事業						
事業区分			新規事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 旅 費		②普通旅費		46	0	0	46	0.0%
	② 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		2,700	2,700	0	0	100.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			2,700	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			0	該当/頁	94	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			2,700	該当/頁	95	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	2,700		0	0	0	0	2,700		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			つながり共創により新たな価値をデザインする場「DoTS (Design of Terminal SETOUCHI)」に参画し、店舗・地上波テレビ・デジタルメディアを活用して本市の魅力を発信することで、「三次」を知る人を増やし「ツナガリ人口」の拡大をめざす。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○旅費 (②普通旅費) 0円 ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,700,000円 ・「三次市WEEK」・「23市町棚」 1,740,000円 開催期間: 令和7年4月17日 (木) ~22日 (火) ※「23市町棚」は通年 開催場所: miobyDoTS (JR広島駅 新駅ビル内) 来店者数: 約38,400人 事業内容: テレビ放映 (事前告知、現地生中継、カーブ中継副音声生出演)、物品販売、トークショー 等 ・「dボタン広報誌」 960,000円 実施期間: 令和7年4月~令和8年3月 実施内容: 広島ホームテレビが提供する地上デジタル・データ放送自治体情報発信サービス「dボタン広報誌」による、市の各広報ツールと連動した情報発信   イベントの様子 物品販売の様子						
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			JR広島駅ビル内の「miobyDoTS」や地上波テレビ・デジタルメディアなどを活用し、本市の魅力や女性活躍などの取組を市内外に広く発信することができました。 また、他部署で実施した芸備線利用促進をテーマとした交流イベントの開催や市内の民間事業者、個人事業主のイベント開催など、交流・共創の場として活用しました。						

款	項	目	担当部局・課名		経営企画部企画調整課				
2	1	4							
事業名			新たな事業構想創出プロジェクト						
事業区分			新規事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料 (物件費)		19,800	19,800	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) →		19,800	決算に関する説明書			
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	94		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		19,800	該当/頁	95		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	19,800		0	0	0	19,800	0		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		企業版ふるさと納税基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			事業構想大学院大学の修士課程のカリキュラムを活用し、市内外の参加者が本市に集い、ツナガリを深めながら講義やフィールドワーク、意見交換などを通じて、事業アイデアを具現化するための考え方や手法を学び、自身が取り組みたいアイデアの事業化に向けて一歩踏み出す、地域人材の育成に取り組む。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 19,800,000円 ・事業創出・人材育成プログラム「三次市みらい価値共創プロジェクト研究」 内容: 事業アイデアを具現化するための考え方や手法を学び、自身の事業構想を作成 研究員数: 10人 プログラム実施回数: 全20回 (地域課題・地域資源の把握、講習、フィールドワーク、意見交換など)						
別添資料等			 						
無			協定締結式						
(事業一覧等)			三次市みらい価値共創プロジェクト研究最終発表会						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			産学官の連携により、自身の事業アイデアを形にする実践を通じ、自ら考え行動する地域人材の育成につながりました。						

款	項	目							
2	1	8	担当部局・課名		経営企画部企画調整課				
事業名			エネルギー・食料品価格等物価高騰対応生活応援給付事業						
事業区分			物価高騰対応事業		—				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		④印刷製本費		528	527	0	1	99.8%
	② 役務費		①通信運搬費		2,585	2,065	520	0	79.9%
	③ 委託料		①業務委託料 (物件費)		26,151	9,936	15,811	404	38.0%
	④ 負担金、補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		520,146	0	520,146	0	0.0%
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡			12,528	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			0	該当/頁	112	
	臨時会 補正	第1回臨時会	⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡			12,528	該当/頁	113	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑨)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	12,528	12,528	0	0	0	0			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金							
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	エネルギー、食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民の暮らしを支援し、地域における消費を喚起するため、市内の店舗で利用できる商品券「三次藩札」を全市民に配布する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○需用費 (④印刷製本費) 527,340円 ○役務費 (①通信運搬費) 2,064,987円 ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 9,935,456円 ・仮設電話設置業務 31,900円 ・商品券作成業務 4,149,016円 ・システム構築業務 1,600,500円 ・封入封緘業務 4,154,040円 ○負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 0円 ※令和8年度へ全額繰越 ※藩札利用期限 令和8年9月30日 給付対象者数 47,236人 給付率 99.14% (令和8年7月31日現在)								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	「三次藩札」を全市民に配布するため、事前通知、システム構築、藩札の作成・封入封緘業務の委託等を行い、3月下旬から対象世帯宛に藩札を発送しました。 補助金 (補助費) については、藩札の換金が令和8年度に入ってから行われるため、全額繰越となっています。								



三次藩札

款	項	目							
2	5	2	担当部局・課名		経営企画部企画調整課				
事業名			指定統計事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		③非常勤職員報酬		30,799	29,512	0	1,287	95.8%
	② 給 料		③会計年度任用職給		1,753	1,722	0	31	98.2%
	③ 職員手当等		⑥時間外勤務手当		2,063	1,925	0	138	93.3%
	④ 職員手当等		⑬一般職期末手当		339	328	0	11	96.8%
	⑤ 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		2,915	2,508	0	407	86.0%
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		35,995	決算に関する付属書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		1,144	該当/頁	136
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		37,139	該当/頁	139
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			「令和7年国勢調査」の調査員報酬について、当初の想定より調査員数が少なく済んだため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑨)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	37,139		0	37,139	0	0	0		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		指定統計調査委託金 (統計調査市町交付金)						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			令和7年度は統計法に基づく基幹統計調査として、国県から委託を受け、学校に関する基本的事項を調査する学校基本調査 (文部科学省) 及び、日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国勢調査 (総務省) を実施した。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○報酬 29,543,422円 ・③非常勤職員報酬 (「令和7年国勢調査」報酬 指導員54名、調査員390名) 29,511,766円 ・④会計年度任用職員報酬 31,656円 ○給料 (③会計年度任用職給) 1,722,036円 ○職員手当等 2,562,794円 ・②地域手当 34,422円、⑬一般職期末手当 327,679円、⑭勤勉手当 276,045円 (会計年度任用職員分) ・⑥時間外勤務手当 1,924,648円 (実査対応及び調査票整理分) ○報償費 (⑤その他報償費) 53,130円 (「令和7年国勢調査」指導員報告会謝礼ほか) ○旅費 244,722円 ・①費用弁償 229,322円 (「令和7年国勢調査」報酬 指導員54名、調査員390名分) ・②普通旅費 15,400円 (「令和7年国勢調査」市区町事務打合せ会に係る職員旅費) ○需用費 182,369円 ・①消耗品費 146,709円 (調査員証用チェキフィルムほか)、③食糧費 8,160円、④印刷製本費 27,500円 ○役務費 (①通信運搬費) 317,558円 (「令和7年国勢調査」調査票等郵送) ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,507,640円 ・「令和7年国勢調査」調査区要図等作成業務 1,683,000円 ・「令和7年国勢調査」実地調査業務 (9施設) 824,640円 ○使用料及び賃借料 (⑧有料道路等使用料) 5,400円						
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			○国勢調査 国勢調査の人口は、選挙区の区割り及び地方交付税の算定基準などの法定人口として利用されます。また、男女・年齢別人口及び産業別人口、昼間人口、高齢者のいる世帯などの統計は、国や地方公共団体の社会福祉、雇用政策、防災対策などの行政資料としても幅広く利用されます。 本調査においては、調査員等の協力を得て、円滑に調査を実施しました。その結果、令和8年5月に公表された人口速報集計では、人口46,587人、世帯数20,643世帯となりました。						